

上下水道局

令和元年度 重点目標

- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 災害に強い体制の構築

令和元年度 重点目標管理シート								
重点目標		持続可能な事業運営の推進			部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け		第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		1 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (ウ) 広域連携の推進 2 支える財政基盤の改革 (ア) 歳入の確保 (イ) 健全な財政基盤の構築			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり		
現況・課題		・人口減少等に伴い料金収入が先細りする一方で、老朽施設の更新や耐震化費用が増大することから、上下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。このため、平成31年3月には、計画的な施設の維持・更新を行うため「水道ビジョン」、「下水道ビジョン」を策定しました。今後は、このビジョンを基本としながら、定期的に事業の見直しを行いつつ、中長期的な収支バランスを図っていく必要があります。 ・熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保・継承が難しくなっているため、危機管理も考慮した人員の確保と人材の計画的な育成が求められています。 ・上下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、市民に事業について広く関心を有してもらうとともに、局の抱える課題について知っていただく必要があります。 ・本年度、料金徴収等業務包括民間委託契約を更新する必要があります。平成30年度上下水道審議会において、これまでの成果と効果について了承されました。						
目的・効果		・ビジョンや経営戦略に沿って事業を推進することで、財源とバランスのとれた投資を行うことが可能になります。 ・職員が計画的に外部研修の受講や資格取得を行うことで、次の世代につながる人材育成を行います。 ・市民が事業に関心を持ち、課題を共有していただくことで、事業が進めやすくなります。 ・安定した財源を確保するため、収納率の向上や水洗化の促進に取り組みます。 ・料金徴収等業務包括民間委託の実績を踏まえ、更なる経費節減と利用者満足度の向上につながるような業者選定を行う必要があります。 ・給水区域が隣接する県企業局・長野市・上田市・千曲市・坂城町の5事業体で構成する水道事業運営研究会に参加し、広域連携の研究を進め、経営の合理化について検討します。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○「経営戦略」の見直し （1）「経営戦略改訂版」の内容の検討 （2）「上下水道審議会」における審議 （3）「経営戦略改訂版」の策定		（1）6月～2月 （2）10～2月 （3）3月	今後10年間の事業の将来像と実現施策を示した「水道ビジョン」、「下水道ビジョン」を平成30年度に策定した。このため、平成28年度に策定した「経営戦略」を、上下水道審議会に諮りながら、両ビジョンの内容に合わせて改定する。	水道ビジョン、下水道ビジョンに基づき、今後10年間の投資・修繕計画である事業計画を作成した。これらを基礎として、経営戦略（改訂版）を策定中。		水道ビジョン、下水道ビジョンの内容を踏まえ、上下水道審議会での3回にわたる審議を経て、中長期的な経営の基本計画である「上下水道事業経営戦略（改訂版）」を2月に策定した。	
②	○人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施		4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ5人 ・上下水道技術関係 延べ25人 ・作業資格取得講習会 延べ10人	外部研修・資格取得研修受講(9月末現在) ・事務系講習会 延べ9人 ・上下水道技術関係 延べ21人 ・作業資格取得講習会 延べ8人		外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ11人 地方公営企業入門、下水道経営セミナー等 ・上下水道技術関係 延べ37人 水道耐震技術研修会、管きょ設計等 ・作業資格取得講習会 延べ17人 小型移動式クレーン運転技術講習、玉掛け技能講習等	
③	○広報活動の充実 （1）広報誌の発行 （2）染屋浄水場の一般開放 （3）環境フェアへの出展 （4）施設見学バスハイクの実施 （5）局内広報委員会の開催		（1）7月、1月 （2）6月 （3）10月 （4）9月～11月 （5）4月～3月	（1）年2回発行 （2）事業の課題を口頭でも説明 （3）パネル展示、水道水飲み比べ等 （4）水源やダム等を見学 （5）年4回程度開催	（1）7/1広報誌を全戸配布 （2）6/2開催。参加者51人 （3）10/19の開催に向け、企画準備中 （4）10/5の開催に向け、企画準備中 （5）4/17、5/15開催		（1）7/1、1/1広報誌を年2回発行（全戸配布） （2）6/2開催。参加者51人 （3）東日本台風のため、中止 （4）10/5開催。参加者20人 （5）4/17、5/15、10/24、11/22、1/20開催の年5回開催	
④	○収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）		4月～3月	収納率 水道99.39%（H30実績）以上 下水道99.29%（H30実績）以上	収納率 水道 98.55%（9月末現在、前年同期98.57%） 下水道 98.48%（9月末現在、前年同期98.46%）		水道99.35%、下水道99.28%、計99.31% （参考） 平成30年度 水道99.39%、下水道99.29% 計99.34% 平成29年度 水道99.33%、下水道99.19% 計99.26%	
⑤	○水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施		4月～3月	新規接続戸数750戸	新規接続戸数 423戸（9月末現在、目標達成率 56.4%） 参考 4月（80戸）、5月（65戸）、6月（47戸）、 7月（94戸）、8月（83戸）、9月（54戸）		新規接続戸数851戸 113.5% 新規接続750戸に対し851戸接続した。 （参考） H30 目標750戸に対し811戸接続 H29 目標750戸に対し850戸接続	
⑥	○広域連携に向けての研究・検討		4月～3月	水道事業運営研究会への参加 ・全体会 1回 ・広域防災体制分科会 1回 ・水質検査分科会 2回 ・料金徴収分科会 2回 ・施設・給水エリア分科会 1回	全体会 3回（5/10、7/31、8/8） 料金徴収分科会 2回（5/22、9/13）		・全体会 4回（5/10、7/31、8/8、11/27） ・水質検査分科会 1回（2/10） ・料金徴収分科会 3回（5/22、9/13、2/5） ・施設・給水エリア分科会（水道情報WG） 2回（1/22、3/26）	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 健全な事業経営によるライフラインの維持。				○取組による効果・残された課題			

令和元年度 重点目標管理シート								
重点目標		きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進			部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における 位置付け		第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け		戦略 施策体系	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		2 支える財政基盤の改革 （ウ）市有財産の適切な管理と利活用				上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり
現況・課題		上水道の水源は河川の表流水、ダム水、地下水、湧水など28箇所あります、湧水水源の一部には降雨時における濁質やクリプト汚染など水質が不安定となるものがあるなど、この対策が急務となっています。こうしたことから、上流域にある水質が安定し、水量も豊富な湧水よる給水に切り替えを進めているが、これらの水源のさらなる有効活用による維持管理の軽減化が求められています。						
目的・効果		・安定した湧水の活用を行うことにより、気象の影響を受けやすい湧水水源の代替や、配水系統間の相互融通や水運用の改善が図られ、より良質で経済的な水の供給が可能となります。 ・安心安全な水道を将来にわたって維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、水質管理体制の強化を図ります。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）		中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○水源の安全性向上 水源の水質検査強化		4月～3月	クリプトスポリジウム検査 12箇所 27検体 指標菌検査 20箇所 92検体		クリプトスポリジウム検査 9箇所 14検体 指標菌検査 20箇所 49検体		クリプトスポリジウム検査 12箇所 27検体 検査終了 指標菌検査 20箇所 92検体 検査終了
②	○水質監視体制の強化 検査機器の更新		4月～3月	誘導結合プラズマ質量分析装置1箇所 濁度計 2箇所 PH計 2箇所 残留塩素計 3箇所		誘導結合プラズマ質量分析装置1箇所 完了 濁度計 設計中 1箇所 事業検討中 1箇所 PH計 設計中 2箇所 残留塩素計 工事中 1箇所 設計中 2箇所		誘導結合プラズマ質量分析装置 1箇所完了 濁度計 1箇所工事中[繰越予定]（染屋 第3配水池） PH計 2箇所工事中[繰越予定]（染屋 原水及び浄水） 残留塩素計 1箇所完了（松井新田）2箇所工事中[繰越予定]（越戸、赤坂配水池）
③	○真田地域簡易水道統合事業の推進 つちや・滝の入水源を活用した新たな導・配水施設の整備		4月～3月	L＝3.0km		延長L＝2.0km（発注済）		L＝3.0km 延長L＝0.8km【完了】 延長L＝2.2km【発注済】（繰越：R2.9月完了予定）
④								
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点					○取組による効果・残された課題		
	おいしく、質の高い水の供給のため、新たな水源の確保や水質検査及び機器の強化に努めます。							

重点目標		上水道施設の計画的な維持・更新			部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における 位置付け		第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け		戦略 施策体系	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		2 支える財政基盤の改革 （ウ）市有財産の適切な管理と利活用			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり	
現況・課題		上水道の施設や管路は老朽化が進行し、特に1980年から2000年のピーク時に布設した管路が今後更新時期を迎えることとなるため、耐用年数を経過した老朽管は年々増加していきます。また、耐震化率も低い水準にあり、大規模地震が発生した場合、水道水を供給する機能の多くが損なわれる可能性があることから、老朽施設の更新や耐震化を早急に進めて行く必要があります。						
目的・効果		老朽化した水道施設や管路の更新あるいは耐震化は、市民生活に欠くことのできないライフラインである上水道の強靱化を進めるために欠くことのできない事業であり、更新に際しては、アセットマネジメントによる更新需要と中長期的な財政推計を踏まえ、計画的に進め投資の平準化を図ります。また、上水道管路の計画的更新や耐震化は、日常の管破裂や漏水などの減少につながり、有収率の向上が期待できます。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上水道基幹管路の耐震化及び経年管の更新		4月～3月	L=6.0km （真田地域簡易水道統合事業を除く）	L=1.8km（発注済） （真田地域簡易水道統合事業を除く）		L=5.4km 延長L=3.5km【完了】 延長L=1.9km【発注済】（繰越：R2.9月完了予定）	
②	○計画的な水道施設耐震化等の推進 （1）浄水場、配水池の耐震診断の実施 （2）染屋浄水場の基本設計		4月～3月	（1）上田地域 3箇所 丸子地域 1箇所 （2）基本設計業務 着手	（1）上田地域 委託中3箇所 丸子地域 委託中1箇所 （2）基本設計業務 着手		（1）上田地域 3箇所完了（真田取入口：沈砂池、石舟浄水場：着水井・混和池、染屋浄水場：排水処理施設） 丸子地域 1箇所完了（鹿教湯浄水場） （2）基本設計業務 着手	
③	○有収率の向上 漏水調査の実施と漏水箇所の修繕		4月～3月	86.0%	有収率84.57%（9月末現在、前年同期83.45%）		有収率84.01%（前年度83.54%） 漏水調査4月～12月で実施、漏水86ヵ所修理完了	
④	○ポンプ設備更新 ポンプ及び自家発電機		4月～3月	丸子地域 1箇所 真田地域 2箇所	丸子地域 事業検討中 1箇所 真田地域 2箇所（8月発注済）		丸子地域 1箇所見送り（箱置送水ポンプ：工業団地の事業規模不確定による延期） 真田地域 2箇所完了（赤石ポンプ、第2機場発電機）	
⑤	○浄水場等設備更新 水位計、流量計、遠方監視設備他		4月～3月	上田地域 3箇所 丸子地域 1箇所 真田地域 4箇所	上田地域 設計中 5箇所 丸子地域 工事中 1箇所 真田地域 4箇所（8月発注済）		上田地域 5箇所工事中〔繰越予定〕（真田取入、川久保取入、新屋取水、石舟浄水場、泉町水源地遠方監視） 丸子地域 1箇所完了（腰越浄水場原水流入電動弁） 真田地域 4箇所完了（中ノ沢、真田配水池流量計及び四阿高原高区、低区配水池水位計）	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				○取組による効果・残された課題			
	上水道を安定的に供給するため、各施設の更新や耐震化を進めます。							

令和元年度 重点目標管理シート

重点目標		下水道施設の計画的な維持・更新			部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における 位置付け		第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け		戦略 訪れたい・住みたいうえだ戦略 施策体系 移住・二地域居住を促進する施策の推進	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		2 支える財政基盤の改革 (ウ) 市有財産の適切な管理と利活用			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり	
現況・課題		・下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、下水道施設長寿命化計画及び後継計画であるストックマネジメント計画を策定し事業を実施しています。今後は、安定した下水処理を維持するため、長期的な計画に基づいた施設の更新を実施していく必要があります。 ・下水道管渠の整備はほぼ完了しましたが、快適な水環境を創造するためには下水道未整備箇所の早期の解消が必要です。また、人口の減少や少子高齢化の進展、省エネルギー化など、社会情勢の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変化し、下水の流入量も微増に留まっています。 ・下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。						
目的・効果		・安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画及びストックマネジメント計画による施設の更新を図ります。 ・社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。 ・良好な生活環境と水環境を形成するため、下水道未整備箇所の管渠工事を実施します。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○し尿前処理下水道投入施設関連 南部終末処理場汚泥処理棟改築工事 汚泥処理棟（耐震化対策）		4月～3月	改築工事実施設計の実施	5月に委託業者が決定し、実施設計中		改築工事実施設計【完了】	
②	○長寿命化事業・ストックマネジメント事業及び耐震化事業の実施 (1) 南部終末処理場の設備更新・耐震化 (2) 丸子浄化センターの設備更新・耐震化 (3) 別所温泉終末処理場の設備更新・耐震化 (4) 鉄蓋更新工事		4月～3月	(1) 設備更新設計・耐震化設計の実施 (2) 設備更新設計・耐震化工事の実施 (3) 設備更新設計・耐震化工事の実施 (4) 更新工事の実施	(1) 耐震診断を6月に完了し、耐震化実施設計中 (2) 耐震診断を6月に完了し、耐震化実施設計中 (3) 耐震診断を6月に完了し、耐震化実施設計中 (4) 鉄蓋更新工事を9月に発注		(1) 耐震化設計【発注済】（繰越：R2. 12月完了予定） (2) 耐震化設計【完了】 (3) 耐震化工事【発注済】（繰越：R3. 3月完了予定） (4) 更新工事 【発注済】（繰越：R2. 5月完了予定）	
③	○農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 統合に向けた実施設計及び工事着手		4月～3月	藤原田地区工事の着手 和子地区・荻窪地区実施設計の実施	(1) 工事を7月に発注し、工事施工中 (2) 実施設計を6月に発注し、実施設計中		(1) 藤原田地区工事 【完了】 (2) 和子地区・荻窪地区実施設計【完了】	
④	○農業集落排水施設の機能強化事業の実施 (1) 本原南処理場の機能強化工事 (2) 上洗馬処理場の機能強化工事		4月～3月	(1) 機能強化工事の実施 (2) 事業実施申請の実施	(1) 実施設計を9月に概ね完了 (2) 計画概要書作成業務委託を7月に発注し、申請資料作成中		(1) 機能強化工事【発注済】（繰越：R2. 10月完了予定） (2) 事業実施申請【完了】	
⑤	○下水道未整備箇所の解消 公共下水道計画区域内の未整備箇所の解消		4月～3月	未整備箇所の解消 上田地域：7箇所	未整備箇所の解消 上田地域：7箇所中6箇所を解消		未整備箇所の解消 上田地域：7箇所【完了】	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				○取組による効果・残された課題			
	・下水道施設長寿命化計画に基づき、施設等の更新を行い経営の安定化と生活環境の維持に努めます。 ・下水道未普及地域の解消が図れ生活環境が向上するとともに河川などの水質改善が図れます。							

令和元年度 重点目標管理シート								
重点目標		災害に強い体制の構築			部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における 位置付け		第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け		戦略 施策体系	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		2 支える財政基盤の改革 (ウ) 市有財産の適切な管理と利活用			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け		2 人と自然にやさしい誰もが住みやすい環境のまちづくり	
現況・課題	上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。							
目的・効果	施設の更新や耐震化は限られた財源の中で進めて行くことから長い期間を要します。しかし、自然災害はいつ発生するかわからず、施設の耐震化が不完全なうちに起ることも想定されます。そのため、災害が発生した際の復旧体制や応急対策を整えておくことは、迅速な災害復旧対応に繋がります。							
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上		4月～3月	応急給水訓練 2回 他水道事業体との合同訓練 1回 緊急連絡管操作訓練 1回 灯油等流入事故対応訓練 1回	応急給水訓練1回、緊急連絡管操作訓練 1回 ・上田市総合防災訓練(市) …8/31参加者16名 ・緊急連絡管操作訓練(県水) …8/6参加者29名 ・応急給水応援訓練(練馬) …9/8参加者2名 ・灯油等流入事故対応訓練 後期で計画		・応急給水訓練3回 ・上田市総合防災訓練(市) …8/31参加者16名 ・応急給水応援訓練(練馬) …9/8参加者2名 ・局内応急給水訓練 …12/5参加者13名 ・他水道事業体との合同訓練1回 ・長野県水道協議会情報伝達訓練 …1/31参加者3名 ・緊急連絡管操作訓練1回…8/6参加者29名 ・灯油等流入事故対応訓練1回…3/13 参加者12名	
②	○災害時等、緊急時の体制整備		4月～3月	大規模災害を想定した初動期における各対策班の具体的業務項目について見直しをし、併せて危機管理マニュアルを改訂	各対策班の具体的業務項目の見直し、マニュアルの改訂は後期で対応。		10/12の東日本台風を受け、各対策班の具体的業務及び人員配置について、マニュアルを一部改訂。	
③	○防災備品の拡充		4月～3月	応急給水タンク 5基 応急給水栓 5基	応急給水タンク 4基（アルミ製） 応急給水栓 5基		応急給水タンク 4基（アルミ製） …9/25日納品 応急給水栓 5基 …7/26納品	
④								
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点					○取組による効果・残された課題		
	・各種の災害に備え、職員の危機管理対応能力の向上を図ります。 ・災害時における上下水道機能の継続・早期回復を図ります。							